年間授業計画　様式例

高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　　芸術　　科目　総合音楽

教　科：芸術　　科　目：総合音楽　　単位数：　　単位

対象学年組：第　3 学年　選択生

教科担当者：（　選択生：毛塚　（　組：　　）（　組：　　）　（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ なし　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　総合音楽　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な音楽の形態やジャンルについて知り、その歴史的背景や表現手段方法について理解し、意図に応じて適切で個性的な表現ができるようにする。	音楽の背景やルーツなどからその楽曲に相応しい表現方法について深く考え、それを工夫して表現に結びつけられるようにする。また、音楽文化に対する見方や考え方を深めたり、感受する力を身に付ける。	様々な形態やジャンルの音楽に対して興味関心を持ち、その文化を尊重する態度を養い、生涯に亘り、音楽を愛好する心情を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	A 単元　合唱 【知識及び技能】 発声、発音、聴き取る力を伸長する。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の背景を知り、演奏に役立てる。楽曲にふさわしい表現を考え工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 探求心をもって、さらに説得力のある表現を求めようとする態度を養う。	・指導事項 各自の課題に応じて歌唱の技術を更に高める。楽曲の背景や成り立ちを知ることの意義を考えさせる。 ・教材「Amazing Grace」 ・一人１台端末の活用　様々な演奏家の演奏を聴き、味わう。	○			○	・歌唱技術を向上させ、より深い響きのある声で歌唱できる。・旋律や曲想の変化を感じ取り、それらと音楽の諸要素の関わりを考えて、より深い表現に結びつけている。・他のパートを聴きながら自分のパートを呼応させて歌唱できる。・楽曲に相応しい表現の仕方をイメージをもって工夫し積極的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
	B　単元リコーダーアンサンブル 【知識及び技能】 リコーダーが全盛だった時代社会や音楽を知る。リコーダーの演奏技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 より良い音色を追求し息の使い方やフレーズを意識して楽曲に相応しい表現を工夫する。同族楽器の幅広い響きを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】互いの音を聴き合い、意見交換し、協働してアンサンブルを仕上げようとする。	・指導事項 リコーダーの運指、タンギング、息の使い方、楽曲のテクスチュア、構成 ・教材 リコーダー各種 ・一人１台端末の活用 原曲を聴き、当時の音楽事情について知る。他のリコーダーアンサンブルの演奏を聴いたり、演奏についての考え方を知る。		○		○	・しっかりを息を流し、リコーダー本来の音色を出している。・他のパートを聴きながら自分のパートを呼応させて演奏できる。・協働して作品を仕上げようと意見を出し合いながら、積極的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
2学期	C 単元　合唱 【知識及び技能】 発声、発音、聴き取る力を伸長する。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の背景を知り、演奏に役立てる。楽曲にふさわしい表現を考え工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 探求心をもって、さらに説得力のある表現を求めようとする態度を養う。	・指導事項　　各自の課題に応じて歌唱の技術を更に高める。楽曲の背景や成り立ちを知ることの意義を考えさせる。 ・教材　ジャズコーラス ・一人１台端末の活用　様々な演奏家の演奏を聴き、味わう。	○			○	・歌唱技術を向上させ、より深い響きのある声で歌唱できる。・旋律やハーモニーの変化を感じ取り、それらと音楽の諸要素の関わりを考えて、より深い表現に結びつけている。・他のパートを聴きながら自分のパートを呼応させて歌唱できる。・楽曲に相応しい表現の仕方をイメージをもって工夫し積極的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	15
	D 単元　ギターアンサンブル 【知識及び技能】 各パートの役割や楽曲のテクスチュアを理解する。クラシックギターの演奏技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 より良い音色を追求し楽曲に相応しい表現を工夫する。ギターアンサンブルの響きを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 互いの音を聴き合い、意見交換し、協働してアンサンブルを仕上げようとする。	・指導事項 クラシックギターの基本的奏法、楽曲のテクスチュア、構成 ・教材 ギター3重奏曲 ・一人１台端末の活用 原曲を聴き、当時の音楽事情について知る。他のギターアンサンブルの演奏を聴いたり、演奏についての考え方を知る。		○		○	・ギターの基本的奏法を習得し、雑音のないよく響く音色を出している。・他のパートを聴きながら自分のパートを呼応させて演奏できる。・協働して作品を仕上げようと意見を出し合いながら、積極的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	15
3学期	E 単元　発表会　　各自が設定した歌唱や器楽の課題をこれまでの学習を生かして完成させ、互いに評価しあう。目標は1，2学期に準ずる。	1，2学期の学習を振り返り、各自の課題に応じて適宜助言・指導する。自ら探求し、高い目標を完遂できる力を養う。	○	○		○	・自分の演奏では最後まで止まらずに演奏できている。・他人の演奏を聴いて適切に評価できる。・互いにたたえあうことができる。	○	○	○	20
											合計
											70